



この「地域協働シーズ集」は、北海道教育大学函館校国際地域学科の趣旨に基づき、地域との協働を一層実質的に推進するために毎年発行しております。各教員の専門分野や具体的に提供できること、学生と一緒に取り組めることなどを検討し、協働の可能性について提案するものです。

地域協働推進センターでは、研究・教育を通じて地域の課題解決に取り組むため、日々奮闘を続けています。【社会協働部門】が取り組んでいる「ソーシャルクリニック」では、地域の皆様と教員や学生が、地域課題の把握・調査・対応・解決方法などを模索し、共に改善・解決を目指して協働しています。【人材養成プログラム部門】では、多様なバックグラウンドを持つ人々が共生していく現代社会において、地域課題をグローバルな視点で多角的に捉え、共生・協働を主導していく「国際地域イノベーター人材養成プログラム」を開発・運営しています。【教育協働部門】では、これまで様々な学校現場との連携を進めてきました。加えて、本校が「地域プロジェクト」等で培ってきた“地域と協働するノウハウ”は、高校で導入が図られている「総合的な探求の時間」などにおいて、一層お役に立てるものと思います。

[地域課題の把握]→[解決策の模索]→[教育・研究への反映]→[地域の教育現場への更なる還元]と、本校らしい地域と大学との協働の在り方、実践と理論との往還のカタチは、今随所に芽吹き始めています。

試行錯誤を重ねている段階のため行き届かない面もございますが、一歩ずつ前進して参りたく存じます。皆様方より、ご教導・ご協力を賜れば幸いです。

地域協働推進センター長 齋藤征人

★★★★★HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION HAKODATE CAMPUS / CENTER FOR REGIONAL COLLABORATION★★★★★

地域協働推進センターについて

【概要】

当センターは【社会協働部門】【人材養成プログラム部門】【教育協働部門】を設置し、以下のような取り組みを通して地域の課題解決、並びに再生や活性化といった地域貢献に資することを目的としています。

- ① 北海道教育大学函館校の有する人的資源、知的資産及び施設、並びに教育・研究活動の成果を活用すること。
- ② 地域主体との協働の推進、地域協働に関連する教育及び人材育成の推進並びに国際地域学の探求のために必要な研究を推進すること。
- ③ 上記①および②を持続的、発展的に取り組むための仕組みづくりを行うこと。

【ソーシャルクリニック（SC：地域課題診療所）事業】

地域課題の診療所のような存在をイメージした、本校オリジナルの地域と大学との協働モデルです。大学と地域が協働をして、①共に地域課題を見つけ診断し、②共に解決に向けた処方箋を書き、③共に解決策（治療）を実施します。それにより、地域が活性化し、地域の中にある大学が、地域とともに持続的に発展することを目的としています。大学と地域との結節点であり、大学にとっては、研究や教育におけるフィールドワークの場として、地域にとっては大学の知的資源（シーズ）へアクセスできる場・装置となることを目指します。

地域協働・協力のご相談は「地域協働・協力相談シート」（巻末）をお使いください。

